



# 平安だより

世田谷平安教会付属 平安幼稚園

2018年 10月号

「神、我らと共に在す」

牧師・園長 長村亮介

「スタンド・バイ・ミー」

夜が訪れて

大地が暗くなるとき

月明りしか見えなくなる

恐れはしない 恐れはしないさ

ただ君がそばに そばにいてくれれば

だから愛する人よ そばにいて 僕のそばに

そばにいてくれ 僕のそばに

もし僕らの上に広がる空が 崩れて落ちてきたら

それか山が海に崩れてくるとしても

僕は泣かない 泣かないよ 涙は流さない

ただ君がそばに そばにいてくれれば

だから愛する人よ そばにいて 僕のそばに

そばにいてくれ 僕のそばに そばにいて

愛する人よ そばにいてくれ 僕のそばに

そばにいてくれ 僕のそばに そばにいて

君に何かあったらいつでも 僕のそばにきてよ

今 そばにいてほしい

そばにいてくれ 僕のそばに

そばにいてくれ 僕のそばに

(作詞:ベン・E・キング、

ジェリー・リバー、マイク・ストラー)

この歌は一九八六年に同名の映画の主題歌になっているので、そちらでご存知の方も多いと思いますが、もととは一九六一年にベン・E・キング、そしてジェリー・リバーとマイク・ストラーが、二十世紀の初めにアメリカの牧師チャールズ・ティンドリーが作った黒人霊歌『Lord, Stand by Me』に着想を得て作詞・作曲をし、ベン・E・キングが歌って、全米でヒットしたものです。あるいはジョン・レノンが一九七五年にカヴァーしたものを聞かれた方も少なくないと思います。

「スタンド・バイ・ミー」という言葉は、クリスチャンの祈りの根本にあるものではないかと思えます。それはイエスさまがお生まれになった時、天使ガブリエルがヨセフにイエスさまのもう一つの名である「インマヌエル（神は我々と共におられる）」を伝えたこと、またイエスさまが十字架の死から復活して天に上げられる時、「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」と弟子たちに告げられたことが聖書に記されているからです。この歌の中には他にも「恐れはしない 恐れはしないさ」とか、また「もし僕らの上に広がる空が崩れて落ちてきたら それか山が海に崩れてくるとしても」という言葉がありますが、これらも聖書からのものです。

私たちが「そばにいて、そばにいて」とイエスさまに祈ることは、もちろん私たちの傍らにいてくださるイエスさまに相応しいのですが、私は最後の「君に何かあったらいつでも僕のそばにきてよ」という言葉にも、辛いことがあった時、苦しい時、その時々生きる勇気をいただいで来ました。これは私の勝手な解釈かも知れませんが、「私のそばにきなさい」と私たちを傍らに招いて下さるイエスさまの御言葉として、私は聞いて来ました。人生には月明りしか見えない、暗い夜の時があります。

でも「怖がらなくていい。私がそばにいる」と、この歌は私たちを力づけてくれるように思うのです。

(参考:ウイキペディア・他)